

かがやく



# パワーママあびこ のイベント!

地域に関わる仕事をしたいと起業!  
あびこを元気にしているパワーママ  
石井亜矢さんにインタビュー

## 「パワーママ」とは……

周囲にパワーを与えてくれるワーキングママ（ワーママ）のことです。社会で活躍するママの等身大の姿を紹介することで、互いに明日の活力に繋げようと、『パワーママプロジェクト』が提唱し、WEBサイトでたくさんのパワーママを紹介しています。

 Power mama

<http://powermama.info/>

P4…〈連載〉その道のプロにきく File No7

## シニアライフコーディネーターにききました

夫婦で家計管理を始めるには

P4…我孫子市の男女共同参画情報

我孫子市は千葉県で唯一の  
男女共同参画宣言都市です

# Power Mama あびこのパワーママ!



## 石井亜矢さん プロフィール

クリエイティブスペース「ハコカラ haco-color」運営、イベント企画運営。integrity 代表。44歳。柏市出身、我孫子市在住。OLから専業主婦になったが、地域に根ざした起業を考えて2015年ハコカラを設立。家族は夫と高校1年と中学1年の娘2人。

## 石井亜矢さん

あなたの周りで元気に活躍しているママはいますか？  
今回は市内で見つけた一人の「パワーママ」を紹介します。  
新規事業を立ち上げつつ、我孫子が大好きで市内のイベントなどに出かけてはいろいろな人をつないでいくパワフルなワーママ、石井亜矢さんです。そのパワーはどこから来るのでしょうか？

企画運営からアイドルまでなんでもござれ！  
我孫子を元気にするパワーママ

## 自分の力で、いろいろな人とつながりたい!

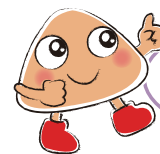
### ●現在のお仕事の内容は？

JR我孫子駅南口近くにある「ハコカラ」というクリエイティブスペースを運営しています。地域の方々とのつながりから、お祭りやイベントの企画などもさせていただいています。

### ●起業のきっかけは？

結婚してからずっと専業主婦で、パートや派遣をしたことはありますが、家族以外に人と関わることはあまりありませんでした。それが40歳目前に生活環境が大きく変わり、私も働くこと、人とのつながりを真剣に考え始めました。ただ仕事をするなら地域に関わる、地域に貢献できることで何かできないかと考えました。東日本大震災で地域のコミュニティの大切さを感じたのが大きかったですね。

また、“〇〇ちゃんママ” “石井さんの奥さん”と呼ばれてきたことに違和感があったという思いから、50歳までに「石井亜矢」の友達を100人作ろうと目標を立てたことが大きな理由です。



「想い」がつながって  
出会いが生まれた  
んだね。

### ●未経験でどうやって事業を起こしたのですか？

自分ができることを探すために、まずビジネス交流会に参加してみました。そこでこの事業のパートナーとなるmogumi (もぐみ) さんと出会ったのです。子育て世代の彼女も、住んでいる地域を少しでもよくしたい、我孫子のために何かできないかという同じ「想い」を抱いていて、意気投合しました。

ちょうどそのころ、この建物のオーナーさんともつながりました。この方は「ここを地域の人々の出会いの場として使ってほしい」という想いを実現してくれる人を探していました。物件を探していた私に、絶妙なタイミングで知人が引き合わせてくれたのです。ここでも同じ想いにつながりました。こうして昨年6月、ハコカラが誕生しました。



ハコカラ入口

### 「ハコカラ\*haco-color\*」って、どんなところ？

利用する人の「やりたい気持ち」を応援するハコ(スペース)で、それぞれのカラー(持ち味)を生かして自由な発想で使える場所を提供しています。セミナーやワークショップを開いたり、また、今増えているコワーキングスペースとして仕事をしたりと、活用方法は多彩。キッチンを利用したイベントも可能です。仕事や趣味で作ったアート作品や小物を展示・販売できるコーナーもあります。

我孫子市本町2-4-14オークビル1F(我孫子駅南口から徒歩1分) TEL 04-7170-0765  
<http://haco-color.jimdo.com/>

## 人がつながる場づくりのために

### ●運営は順調ですか？

設立して1年余り、まだまだ経営は軌道に乗っていませんが、この半年ほどで地域の方たちとのつながりができてきたと感じています。

ハコカラで始めたことの一つに「あびこ子ども食堂」があります。子どもの貧困が社会的な問題になっていると知り、驚いていろいろ調べました。そして私にもできそうな取り組みを見つけて仲間4人で始めました。

貧困に対するというよりも、子どもが塾へ行く前に独りでごはんを食べるとか、食べてもカップラーメンだけという環境を少しでも変えたい…。私たちの子ども食堂では誰でも気兼ねなく自由に入出入りできて、家族や近所の人たちと一緒に楽しく食べることで、子ども同士が友達になったり大人同士の輪も広がったりしています。

子ども食堂はボランティアの活動ですが、地域に貢献する場づくりという点で新たな人脈もできました。あびこカップまつりでも実行委員をしたり、企画を請け負ったりして地域のつながりを広げています。

### ●仕事と家庭のバランスはどうですか？

今は仕事の比重が多くてバランスはとれていませんが、



次女と卒業式で

長女と卒業式で

—— 大輪のひまわりのような石井亜矢さんの笑顔は、周りの空気を一瞬で明るくしてしまいます。その笑顔に元気をもらっている人は多いはず。そんなママを支えようと家族のつながりも強くなるようです。自分らしく生き、何事も楽しんで取り組むことが、力を生み出す秘訣なのですね。

家族はみんな協力的で、夫も家事をしてくれますし、帰りが遅いと娘たちがご飯を作っておいてくれたりします。私がやらないからかもしれないかもしれませんが(笑)、家族の協力は本当にありがたいですね。

実は私、最近まで「サムライローズ」というアラフォーアイドルをやっていたんです。その時も家族は「ママはいつも楽しそうだよ」と応援してくれました。この家族があって今の私があると感謝しています。



あびこカップまつりで

## パワーの源は、みんなの喜ぶ顔!

### ●家庭と仕事それぞれで大切にしていることは？

仕事では周りの人たちを楽しませて、「石井さんと出会えてよかった」と思ってもらえるような、お互いが「ありがとう」といえるような関係を築いていきたいと思っています。

家庭でも同じで、お互いが楽しく幸せでいたいと思っています。先日娘に「本当にママの子でよかった」「こんな楽しい大人と出会える機会はなかなかないと思う」と言われました。とてもうれしかったです。

### ●そのパワーの源はなんですか？

とにかく面白いことが好きなのと、みんなが喜んでいる顔を見るのが大好きなんです。そのためにいろいろ頑張っちゃう! 引き受けすぎにはいけないと思うこともありますが、「できない」とは言いたくなくて頑張るのかもしれない。



「ハコカラ\*haco-color\*」って、どんなところ？  
利用する人の「やりたい気持ち」を応援するハコ(スペース)で、それぞれのカラー(持ち味)を生かして自由な発想で使える場所を提供しています。セミナーやワークショップを開いたり、また、今増えているコワーキングスペースとして仕事をしたりと、活用方法は多彩。キッチンを利用したイベントも可能です。仕事や趣味で作ったアート作品や小物を展示・販売できるコーナーもあります。  
我孫子市本町2-4-14オークビル1F(我孫子駅南口から徒歩1分) TEL 04-7170-0765  
<http://haco-color.jimdo.com/>



### あびこ子ども食堂

月2回、17:00~20:00、主にハコカラで開催。参加費1人300円。「みんなと一緒に同じ釜の飯を食べる」をモットーに、多い時は大人と子ども合わせて70人が自由に入出入りして食事とともにします。子どもが自主的に片付けを手伝ったり友達ができたり。子どもと大人のふれあい、大人同士のコミュニティも生まれています。食材は我孫子産野菜を積極的に活用しており、近くの農家やお店から提供されることもあります。

夫婦で家計管理を始めるには



回答者：新宅隆さん  
定年退職後、2004年我孫子市社会教育指導員に着任。団塊の世代が一齐退職を迎えた「2007年問題」に向けて、公民館講座「熟年備学」を企画、心豊かで自立した熟年生活を提案。退任後も同講座に講師として招かれている。シニアライフコーディネーターのほか、高齢者体力づくり支援士等で活躍。

Q 私も夫も70代、二人暮らしです。長年、妻の私が家計を管理してきました。今後は二人でお金や通帳等を管理し、もし私が先に逝った場合でも、夫が困らないようにしたいのですが…

A 一般的に夫婦のどちらかが家計を担当する家庭が多いようですが、高齢であればなおのこと、二人で管理すると安心ですね。家計簿をつけるのはどちらか一人の担当であっても、一緒に全体の状況を把握していれば、心強いものです。

相手が家計管理に参加しやすいように、まず二人で今後の生活プランをおおまかに立てましょう。住宅の修繕や冠婚葬祭、旅行、医療、お墓は

どうするのか等。孫がいる方は度々お祝い金も必要です。諸費用がみえてくれば、自ずと意欲をかきたてられます。日々、お互いに相談、報告し、知恵を出し合う…若い頃から心がければもちろん良いことですが、今からでも遅くありません。

また預金通帳、印鑑等の保管場所は一度聞いただけでは忘れてしまいがちなので、気が付いたときに確認し合うことをおすすめします。

夫婦で家計管理するポイント

将来計画…大雑把なプランでOK。よく話し合う

会 話…常に相談と報告を欠かさない

貴重品…保管場所は折に触れて伝える  
暗証番号もあれば共有する

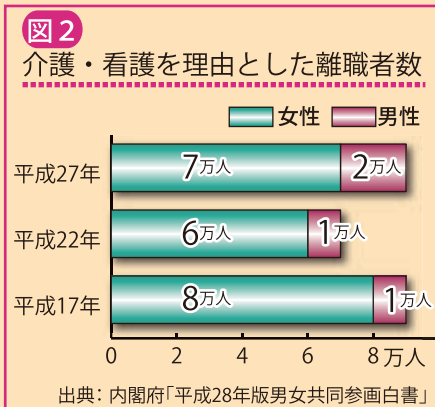
我孫子市の男女共同参画情報

グラフで見るキーワード

ダブルケアと介護離職

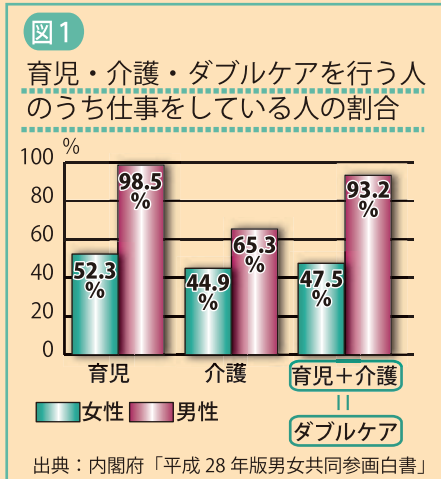
子育て世代が親の介護も抱え「育児と介護」という2つの「ケア」を同時に担う、いわゆる「ダブルケア」が社会的課題としてクローズアップされてきました。高齢化や出産年齢の上昇で育児期間に幅が生まれたことなどが主な原因として考えられています。

総務省「就業構造基本調査」(平成24年)によると、未就学児の育児を行っている人は約1000万人、介護を行っている人は約557万人で、ダブルケアは約25万人(男性約8万5



千人、女性約16万8千人)と推計されています。多くの人が育児や介護をしながら働いており、中には働きながら育児と介護の両方を抱える人もいます(図1)。

仕事を辞めなければならない「介護離職」も顕在化してきました。総務省「労働力調査」によると、昨年一年間で介護・看護を理由に仕事を辞めた人は女性7万人、男性2万人、計9万人です(図2)。働きながらの介護は既婚、非婚、子どものいないに関わらず誰にでも訪れる可能性があり、男女共に考えていきたい課題といえます。



ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽に男女共同参画室までお寄せください。

我孫子市男女共同参画情報紙「かがやく」通巻31号 平成28年10月発行  
◆発行：我孫子市 総務部 秘書広報課 男女共同参画室 〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地  
TEL 04-7185-1752 (直) FAX 04-7185-1520  
◆編集：有限会社マエダ印刷 〒270-1121 我孫子市中峠1515 TEL 04-7188-2428